

≪和光南特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・ 学科	小学部 中学部 高等部	R4.5.1 児童・ 生徒数	(男) 211 (女) 75	計 286
アクセス	東武東上線和光市駅よりバス 5 分 西大和団地下車徒歩約 10 分					
＜教育課程等＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の知的障害の状態や他の障害を併せ有するなどを考慮し、指導の可能な内容を精選した教育課程・指導計画を作成している。 ・小中高の段階を踏まえた継続的指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①望ましい身辺自立の確立 ②円滑な集団・社会的な活動 ③職業・家事に携わる資質の涵養 ④就労に係る体験的学習機会の確保 ・高等部教育課程の複数化を実施するにあたり、これまでの課題別学習との整合性を保ちながら学習内容を整備している。 ・「和光南スタンダード」を基に、全教職員が児童生徒の的確な実態把握と適切な指導を行うための専門性の向上に取り組んでいる。 						
＜学校行事・部活動＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・全校一丸となって取り組む学校行事。運動会・文化祭（たけのご祭） ・宿泊学習（遠足・修学旅行含む）や社会体験学習等で経験領域を拡大。 ・高等部に自主通学生徒を対象にした部活動（球技部）を設け、月・水・金の放課後に練習を実施。令和元年度、男子は県特体連サッカー大会において優勝を果たした。令和3年度、県特体連陸上競技大会のフライングディスクにおいて第2位の成績を収めた。 						
＜家庭・地域との連携＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会、保護者会、授業参観、土曜授業を年間複数回実施して学校を公開する。 ・文化祭（たけのご祭）では、PTAと協力して販売等を実施。 ・近隣小中高校との交流会の実施。また、希望者は支援籍学習を実施して地域の児童生徒と交流している。 ・高等部は企業や事業所・施設の協力を得て、職場見学や現場実習等を実施して、望ましい就労観や勤労観を修得する。 ・自閉症、行動問題等の事例について、専門家・福祉・医療等外部関係機関と積極的に相談関係を構築して連携している。 						
＜進路＞						
<ul style="list-style-type: none"> ・企業就労 29%、福祉的就労 71%。 <p>【企業就労】 清掃業、小売業、印刷業、農園芸業、製造業、リネン業、運送業、飲食業、倉庫業等</p> <p>【福祉的就労】 (埼玉県) 戸田市・朝霞市・新座市・和光市・川口市等の福祉施設に就労 (東京都) 板橋区等の福祉施設に就労</p> <p>【小・中学部】 小学部・中学部の児童生徒は、本校の中学部・高等部へ進学</p>						

埼玉県立和光南特別支援学校 育成方針（児童生徒の成長物語）

本校の 特色

- ・高等部「教育課程の複数化」を行い、生徒の実態に合った3つの教育課程（重複、類型Ⅰ、類型Ⅱ）を編成・実施している。
- ・特別非常勤講師を5名配置し、専門分野の視点から、児童生徒の発達課題に沿った指導上の助言を日常の指導に活かすと共に、保護者からの相談にも丁寧な対応を行う。<<「公認心理師」「言語聴覚士ST」「作業療法士OT」「理学療法士PT」>>
- ・「和光南スタンダード」を基に、全教職員が的確な実態把握と適切な指導ができる専門性の向上に取り組む。

学習指導・生活指導

- ・保護者面談、発達検査等を基に教育支援プランA・Bの作成。
- ・異なる障害特性や程度に応じた指導の工夫。
- ・指導の継続性を考慮した学部学級経営案の作成と研修の実施。
- ・特別非常勤の活用と外部講師を招聘して研修の実施。

進路指導

- ・生活単元学習で進路学習の実施。
- ・ハローワークや企業との情報交換会、事業所訪問等で多面的に情報収集。
- ・行政、施設、関係諸機関との連絡協議会を年2回実施。
- ・就職後アフターケア（就労支援センターと連携）実施。就職後の定着率100%を目指す。

高等部

- ・中学部における目標をさらに充実発展させる。
- ・勤労にかかわる体験的な学習の指導を適切に行うようにし、働くことや創造することの喜びを体得し、望ましい勤労観や職業観を養う。

自立と 社会参加へ



小学部

- ・心身諸機能の調和的発達の伸長。
- ・基礎的な生活習慣を身につける。
- ・集団へ参加する能力や態度を養う。
- ・社会生活に必要な基礎的知識と技能を養う。

中学部

- ・小学部における目標をさらに充実発展させる。
- ・将来の家庭生活、社会生活に必要な知識と技能を身につける。

センター的機能

- ・コーディネーターを派遣し研修や相談の実施。
- ・地域事例研修会の実施。
- ・公開研修、コーディネーター研修会の実施。毎年約100名が参加。
- ・ボランティア養成講座の実施

支援籍学習

- ・まつり、運動会等の学校行事へ参加。
- ・各教科・特別活動等の授業に参加。

開かれた学校づくり

- ・他校との交流教育の実施。実施校例：
 - 朝霞市立第八小学校
 - 和光市立北原小学校
 - 和光市立和光第二中学校
 - 県立和光国際高等学校
- ・家庭や地域と連携した防災対応。（和光市福祉避難所、避難訓練、引取訓練、一斉メールやホームページの活用）
- ・各種研修会や講演会の公開。

和光南特別支援学校は、地域の教育力と連携しながら、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を実施し、「生きる力」を育成します。